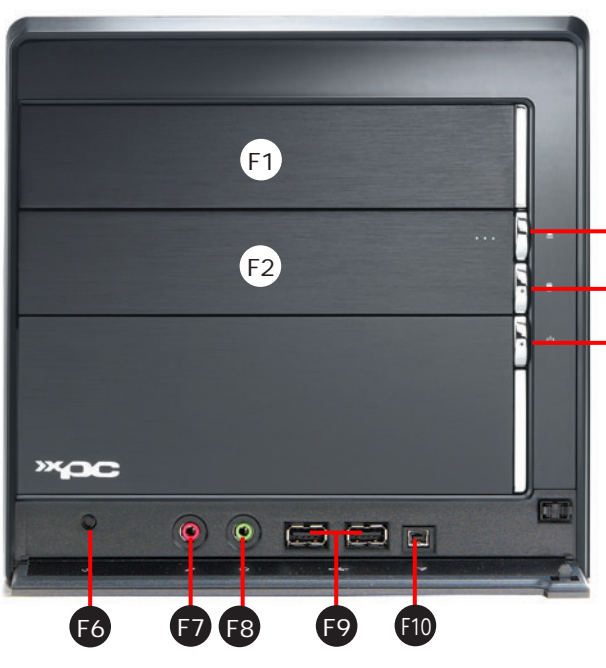


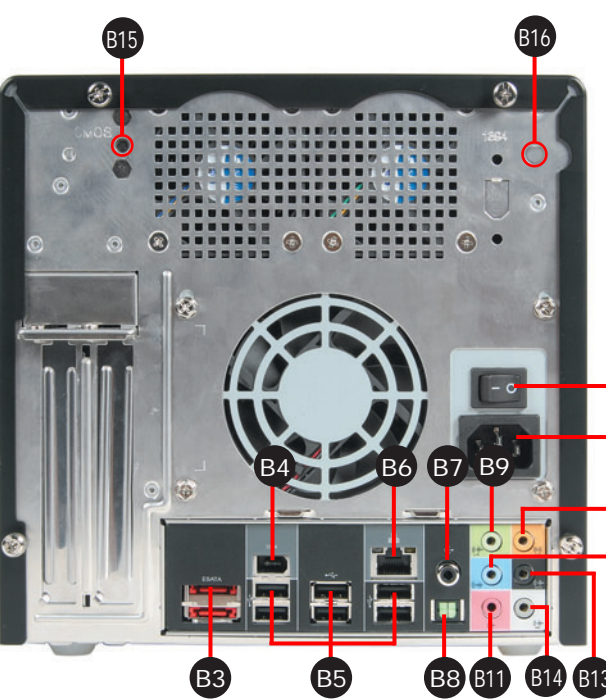
SP75P2 クイックガイド【日本語】

正面パネル



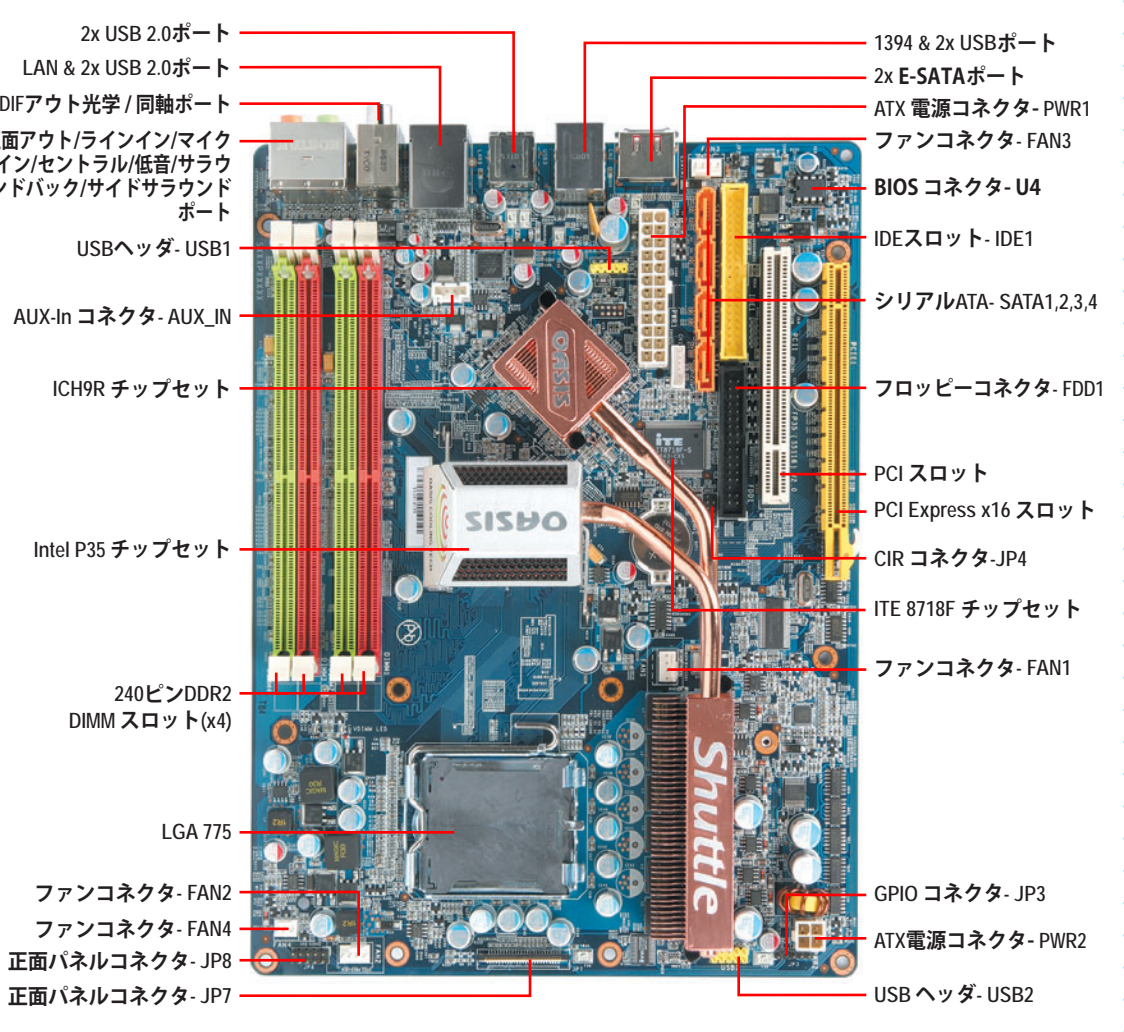
- F1. 5.25"ベイ
- F2. 3.5"ベイ
- F3. イジェクトボタン
- F4. HDD LED
- F5. 電源スイッチ & LED
- F6. リセットボタン
- F7. マイクイン
- F8. ヘッドフォン
- F9. USBポート
- F10. ミニIEEE1394ポート

背面パネル



- B1. AC電源スイッチ
- B2. AC電源ソケット
- B3. E-SATAポート
- B4. IEEE1394ポート
- B5. USBポート
- B6. LANポート
- B7. SPDIFアウト (同軸)
- B8. SPDIFアウト (光学)
- B9. 正面アウト(L/R)
- B10. ラインインポート
- B11. マイクイン
- B12. セントラル/低音
- B13. サラウンドバック (L/R)
- B14. サイドサラウンド (L/R)
- B15. CMOSクリアボタン
- B16. ワイヤレスLAN穿孔

メインボード図



ジャンパ設定

正面パネルコネクタ

ファンコネクタ

AUX-IN コネクタ

GPIO コネクタ

正面パネルコネクタ

CIR コネクタ

USB ヘッド

BIOS コネクタ

B. CPUとICEの取り付け

1. 4本のICEモジュールの取り付けネジを外し、ファンコネクタのプラグを抜きます。

2. シャーシからICEモジュールを取り外し、脇に置きます。

3. 保護カバーを取り外します。まずソケットレバーのロックを解除し引き上げ、ロードプレートを開きますこの手順の間、ソケットピンに触れないように注意してください。

4. CPUをソケットの正しい位置に置き、CPU隣の黄色い三角形をソケットの三角形と合わせます。CPUが完全に水平になっていることを確認し、CPUをソケットにセットします。ロードプレートを閉じ、CPUのソケットレバーを下ろし、所定の位置にロックします。

5. 熱伝導グリスをCPUダイに均一に塗ります。

C. DDR2の取り付け

1. DIMMラッチのロックを外します。

2. DDR2モジュールの切り出しをDIMMスロットのノッチに合わせます。DDR2モジュールをDIMMスロットにスライドさせながら入れます。

3. ラッチが閉まっていること、DDR2モジュールがしっかり取り付けられていることを確認します。

D. ケーブルとラックの取り付け

1. FDDを取り付けている場合、FDDケーブルをFDD1ヘッダに差し込み、図に示すように電源の延長ケーブルを4ピン電源ヘッダに接続します。

2. HDD/FDDをラックに置き、横からネジで締め付けます。

3. シャーシにラックを置きます。

E. 周辺機器の取り付け

1. FDDを取り付けている場合、FDDと電源ケーブルをフロッピードライブに接続します。

2. IDE HDDを取り付けている場合、IDE HDDと電源ケーブルをHDDに接続します。

3. 光学ドライブをシャーシにスライドさせます。

4. 4本のサイドネジを締め付けます。

注: シリアルATA HDDの取り付けがこれで終了した場合、ステップ6に進んでください。シリアルATA HDDをさらに取り付ける場合は、ステップ7に進みます。

6. シリアルATA HDDラックをシャーシに置き、ラックを再び取り付けます。

7. シリアルATA HDDをシリアルATA HDDラックに置き、横からネジで締め付けます。

8. シリアルATA HDDラックをシャーシに置き、ラックを再び取り付けます。別のシリアルATA HDDを取り付けるには、この手順を繰り返します。

9. シリアルATA HDDと電源ケーブルをHDDに接続します。

F. アクセサリの取り付け

1. 拡張スロットのブラケットのネジを外します。背面パネルのブラケットを外し、脇に置きます。

2. PCI/PCI Express x16 カードを PCI/PCI Express x16 スロットに取り付けます。

3. ブラケットをしっかり締め付けます。

G. 完了

1. カバーを元に戻し、ネジを再び取り付けます。

2. これで、完了です。

注: 最適化されたBIOS値をロードしてください。